

令和8年度 一年書写 年間指導計画

月	時数	単元名	単元の目標	生徒の活動事項	評価規準と観点(知識・技能/思考、判断力、表現力等/主体的に学習に取り組む態度)
4 ・ 5 ・ 6	3	漢字を分解してみよう	◎点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。	1教科書の図を見て、漢字は点や画の組み合わせでできていることを確かめる。 2 漢字を構成する点画の名称と筆使いのポイントを確かめる。 3 穂先の向きと筆圧に気をつけて、小学校で学習した点画を毛筆で書く。	【知】点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 【思】(点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。) 【態】進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。
		漢字の筆使い(毛筆)	◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。	1 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。 2 「学習の窓」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。 3 漢字の筆使いに注意して、毛筆で「天地」「春風」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「天地」「春風」「探究」を書く。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。 【思】(毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで、漢字の筆使いを確かめている。) 【態】進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って「天地」「春風」を書こうとしている。
	3	漢字の筆使い(硬筆)	◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。	1 教科書P40-43で学習したことを生かして、漢字を構成する点画の筆使いを確かめながら、硬筆で漢字を書く。 2 速く書くときの「許容される書き方」を理解する。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。) 【態】進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って楷書で書こうとしている。
		外形と中心/筆順	◎字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書くことができる。	1 教科書P34-35で学習したことを生かして、文字の外形や中心に気をつけながら、硬筆でP4の漢字を書く。 2 教科書P34-35で学習したことを生かして、筆順に気をつけながら、硬筆でP5の漢字を書く。	【知】字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方<外形と中心/筆順>を確かめている。) 【態】進んで字形の整え方(外形と中心/筆順)を確かめ、小学校での学習を生かしながら楷書で書こうとしている。
	点画の組み立て方/部分の組み立て方	◎字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書くことができる。	1 教科書P34-35で学習したことを生かして、点画の組み立て方を意識しながら、硬筆でP6の漢字を書く。 2 教科書P34-35で学習したことを生かして、部分の組み立て方を意識しながら、硬筆でP7の漢字を書く。	【知】字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方<点画の組み立て方/部分の組み立て方>を確かめている。) 【態】進んで字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を確かめ、小学校での学習を生かしながら楷書で書こうとしている。	

		名文を書いてみよう1	◎今まで学習した知識・技能を活かして書くことができる。	1「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、楷書とそれに調和した仮名で名文を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書こうとしている。
	2	楷書に調和する仮名(いろは歌)	◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。	1「いろは歌」の成立や平仮名の字源について理解する。 2「学習の窓」を見て、楷書に調和する仮名の筆使いと字形のポイントを確認する。 3「結び」や「曲がり」「折り返し」の筆使いを確認する。 4 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、小筆で「いろは歌」を書く。	【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。 【思】(小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確認している。) 【態】積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。
	2	文字の大きさと配列(俳句)	◎文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	1 教科書P46の「夏の夜や…」を見て、どこを直すと読みやすくなるかを考える。 2「学習の窓」を見て、文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさや配列のポイントを確認する。 3 必要に応じて、墨のすり方を確認する。 4 文字の大きさと配列を意識して、小筆で「夏の夜や…」を書く。	【知】文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 【思】(決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。) 【態】進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。
7	1	[コラム]文字の歴史を探る	◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。	1 漢字には3000年以上の歴史があり、時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。 2 日本独自の文字である仮名が、漢字を元にして誕生したことを知る。 3 篆書・隷書・草書が生活の中で使われていることを知り、身近な使用例を探す。	【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。 【思】(文字の大まかな歴史を確認している。) 【態】積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。
9	2	速さを比べてみよう	◎漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。	1 書く速さを意識して、一画ずつ丁寧に楷書で「春・夏・秋・冬」を書く。 2 できるだけ速く「春・夏・秋・冬」を書く。 3 1と2で書いた文字を比べて、速く書いたときの文字の特徴を話し合い、速く、読みやすく書くことができる行書を学ぶ意義を理解する。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。 【思】(二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確認している。) 【態】積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。
		行書の特徴(教科書P54-55)	◎漢字の行書の特徴を理解することができる。	1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2「学習の窓」を見て、行書の特徴を理解する。 3 行書で書かれた「緑」を指でなぞり、行書の特徴を確認する。 4 教科書P55下段を見て、今後の学習内容を知る。	【知】漢字の行書の特徴を理解している。 【思】(行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確認している。) 【態】積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。

10	2	丸み・点画の連続	◎漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。	1 行書で書かれた「一」を指でなぞり、楷書との筆使いの違いを理解する。 2 「学習の窓」を見て、点画が丸みを帯びる理由と、行書で書くときの留意点を確認する。 3 丸みを意識して、毛筆で「一」を書く。 4 行書で書かれた「二」「口」を指でなぞり、楷書との筆使いの違いを理解する。 5 「学習の窓」を見て、点画が連続する理由と、主な連続の仕方を確認する。 6 点画の連続を意識して、毛筆で「二」「口」を書く。 7 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「一」「三」「日」「口」を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】(毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴く丸み・点画の連続>を確認している。) 【態】進んで行書の書き方(丸み・点画の連続)を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている。
1 1 ・ 1 2	3	点画の変化(毛筆)	◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	1 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して、点画(終筆の形)が変化している部分を鉛筆で囲み、形が変化する理由を話し合う。 2 「学習の窓」を見て、点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化の仕方を確認する。 3 行書には多様な書き方があることを理解する。 4 点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「大木」や「北西」「月光」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「大木」「北西」「月光」を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴く点画の変化>を確認している。) 【態】進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。
1 ・ 2 ・ 3	1	点画の変化(硬筆)	◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	1 教科書P58-63で学習したこと(点画の変化)を振り返る。2 点画の変化の仕方を確認し、点画の変化についての学びを生活に生かすという意識をもって、硬筆で漢字や語句を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】(硬筆で漢字や語句を書くなかで、行書の基礎的な書き方<点画の変化>を確認している。) 【態】進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って漢字や語句を書こうとしている。
	1	[国語]季節のしおり1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列/行書の特徴)に注意して、楷書・楷書に調和する仮名、行書で季節の言葉を硬筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。

年間授業時数 20時間

主な評価方法
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察

ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察

ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察
ワークシート・観察